

令和２年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力
「マウケ島貯水タンク整備計画」

令和２年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「マウケ島貯水タンク整備計画」の贈与契約書に関し、２０２０年１０月３０日にクック諸島マウケ島地方政府においてバイネ・アベラハマ・マウケ島地方政府市長が署名し、同年１１月２日、在ニュージーランド日本大使館において小林弘裕大使が署名を行いました。

本計画によって、日本は、マウケ島地方政府に対し１３１，７００ＮＺドルを支援し、マウケ島内８カ所（マウケ空港、マウケ病院、マウケ学校及び島内各所のコミュニティ・ホール）に２万リットルを貯水できる貯水タンク８基を設置するとともに遠隔地の住民や消火用のために可動式貯水タンク１基を供与します。マウケ島住民約３００名の飲料水、生活用水、農業用水が確保されるとともに火災にも対応できるようになります。



バイネ・アベラハマ・マウケ島地方政府市長



小林弘裕 駐クック諸島大使